



QuarkCopyDesk 10.2.1 ReadMe

目次

QuarkCopyDesk 10.2.1 ReadMe.....	4
必要システム構成.....	5
必要システム構成 : Mac OS X.....	5
必要システム構成 : Windows.....	5
インストール : Mac OS.....	7
インストール : Windows.....	8
サイレントインストールの実行.....	8
サイレントインストールの準備 : Windows.....	8
サイレントインストールの実行 : Windows.....	8
インストール後のファイルの追加 : Windows.....	9
アップグレード.....	10
更新.....	11
QLAによるインストールまたはアップグレード.....	12
登録.....	13
アクティブ化.....	14
アクティブ化.....	14
アクティブ化のトラブルシューティング.....	15
再アクティブ化.....	16
二重アクティブ化ポリシー.....	16
デモンストレーション版モード.....	16
ライセンス転送.....	18
アンインストール.....	19
アンインストール : Mac OS.....	19
アンインストール : Windows.....	19
このバージョンにおける変更点.....	20

新しいバージョンの10.2.1機能	20
新しいバージョンの10.1.1機能	20
新しいバージョンの10.1機能	20
既知および解決済みの問題.....	23
Quarkへの連絡.....	24
南北アメリカ.....	24
南北アメリカ以外の国々.....	24
法律上の注記.....	25

QuarkCopyDesk 10.2.1 ReadMe

高性能な組版および画像編集ツールパッケージを使用して、QuarkCopyDesk®でアーティクルのテキストおよび画像を編集できます。QuarkCopyDeskは、スタンドアロンアプリケーションとして、QuarkXPress®プロジェクトのアーティクルを使用する手段として、または規模の大きな編集ワークフローシステムの一部として使用できます。

必要システム構成

必要システム構成 : Mac OS X

ソフトウェア

- Mac OS X® 10.7.5 (Lion) 、 Mac OS X 10.8.x (Mountain Lion) 、 Mac OS X 10.9.x (Mavericks)

ハードウェア

- Mac® Intel®プロセッサ
- 2GB以上のRAM
- 2GBのハードディスクの空き容量

その他

- アクティベーションのためのインターネット接続

オプション

- DVDからのインストールのためのDVD-ROMドライブ (ダウンロードからのインストールには不要)

必要システム構成 : Windows

ソフトウェア

- Microsoft® Windows® 7 (32ビットおよび64ビット) SP1またはWindows 8 (32ビットおよび64ビット) またはWindows 8.1 (32ビットおよび64ビット)
- Microsoft .NET Framework 4

ハードウェア

- 2GB以上のRAM
- 2GBのハードディスクの空き容量
- SSE3命令セットをサポートするマルチコアのプロセッサ

必要システム構成

その他

- アクティベーションのためのインターネット接続

オプション

- DVDからのインストールのためのDVD-ROMドライブ（ダウンロードからのインストールには不要）

インストール : Mac OS

QuarkCopyDeskをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

インストール : Windows

QuarkCopyDeskをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

サイレントインストールの実行

サイレントインストール機能により、段階的な指示に従って操作しなくても、ネットワークを介してQuark CopyDeskをコンピュータにインストールできます。この機能は、手動でのインストールが煩雑な大規模なグループインストールの場合に便利です。

サイレントインストールの準備 : Windows

Windowsユーザーがコンピュータでサイレントインストールを実行できるようにするには、管理者は下記の変更を行う必要があります。

- 1 インストーラが入っているディスクまたはディスクイメージのすべてをローカルハードディスクの空のフォルダにコピーします。
- 2 インストーラのローカルコピーを使用して、QuarkCopyDeskをローカルハードディスクにインストールします。インストーラにより、インストーラが配置されているフォルダに"QuarkCopyDesk Setup.xml"ファイルが作成されます。
- 3 テキストエディタで"silent.bat"ファイルを開き、次の"QuarkCopyDesk Setup.xml"ファイルのパスが最初の行にあることを確認します。'[network path of setup.exe file]' /s /v/qn'
- 4 QuarkCopyDeskのインストールを許可されたユーザーに対してインストーラおよび"QuarkCopyDesk Setup.xml"ファイルが入っているフォルダを共有します。

サイレントインストールの実行 : Windows

Windowsでサイレントインストールを実行するには、エンドユーザーは下記の手順に従ってください。

- 1 "QuarkCopyDesk Setup.xml"ファイルと"silent.bat"ファイルが入っている共有フォルダに移動します。
- 2 "silent.bat"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

インストール後のファイルの追加 : Windows

インストール後にファイルを追加するには、下記の手順に従ってください。

- 1 "setup.exe"アイコンをダブルクリックします。
設定ダイアログボックスが表示されます。
- 2 次へをクリックします。
プログラムのメンテナンス画面が表示されます。
 - 設定をクリックしてインストールするファイルを選択します。新しいファイルをインストールするか、既にインストール済みのファイルを削除できます。
 - 修復をクリックして、インストール済みファイルに関連した小さな問題を訂正します。このオプションは、ファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが不足したり壊れたりした場合に使用してください。
- 3 次へをクリックします。
 - 前のダイアログボックスで設定をクリックした場合は、カスタムセットアップ画面が表示されます。必要に応じて変更し、次へをクリックします。プログラムを変更する準備ができました画面が表示されます。
 - 前のダイアログボックスで修復をクリックした場合は、プログラムを修復する準備ができました画面が表示されます。
- 4 インストールをクリックします。
- 5 プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、完了をクリックします。

アップグレード

QuarkCopyDeskをこのバージョンにアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
 - 2 インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。
 - *Windows* : バリデーションコード画面が表示されたら、インストールタイプドロップダウンメニューで**アップグレード**を選択します。アップグレードバリデーションコードが分かっている場合は、**バリデーションコードを入力してください**フィールドに値を入力します。アップグレードバリデーションコードが不明な場合は、**バリデーションコードの取得**をクリックしてQuarkウェブサイトへ移動し、画面上の指示に従ってバリデーションコードを取得してから、**バリデーションコードを入力してください**フィールドにバリデーションコードを入力します。
 - *Mac OS X* : この時点では**バリデーションコード**は要求されません。アプリケーションを初めて起動したときに要求されます。
 - 3 **Continue (続ける)** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- ➡ インストーラにより、新しいQuarkCopyDeskがインストールされます。以前のバージョンを置き換えるわけではありません（つまり、QuarkXPress 9.xがQuarkXPress 10.xに置き換わるわけではありません）。

更新

インストーラはQuarkCopyDesk 10.xより前のバージョンを現在のバージョンに更新します。QuarkCopyDeskをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 Make a copy of the application folder on your hard drive to ensure that you have a working copy of the software if you encounter issues during the update.
- 3 アプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストールから変更されていないことを確認してください。
- 4 インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。
 - *Windows* : インストーラがインストール済みのQuarkCopyDeskを探し、現在のバージョンに更新します。
 - *Mac OS X* : インストール済みのQuarkCopyDeskがデフォルトの場所にある場合、インストーラにより更新されます。インストール済みのQuarkCopyDeskがデフォルトの場所になく、それを更新したい場合、表示された**カスタマイズ**ボタンをクリックしてから、アプリケーションの**ロケーション**列をクリックし、**その他**を選択し、既存インストールの場所に移動します。

QLAによるインストールまたはアップグレード

Quark® License Administrator (QLA) は、ライセンス販売されるQuark製品を管理するためのソフトウェアです。教育サイトライセンスまたは商用サイトライセンス サイトライセンス製品を購入した場合は、QuarkCopyDeskの購入時にQLA CD-ROMを受け取ります。QLAは、QuarkCopyDeskをインストールする前に、ネットワーク上にインストールする必要があります。

QLAが既にインストールされているときにQuarkCopyDeskのインストールを開始すると、登録情報の入力後に**ライセンスサーバーの詳細**ダイアログボックスが表示されます。インストールを始める前に、下記のフィールドに値を入力するために必要な情報があるか確認してください。

- **ライセンスサーバーのホスト名/IPアドレス**：ライセンスサーバーとして指定したサーバーのIPアドレスまたはサーバー名を入力します。ライセンスサーバーは、ライセンスクライアントからの要求を処理します。
- **ライセンスサーバーのポート**：ライセンスサーバーのポートの値を入力します。この番号は、QLAソフトウェアをオンライン登録するときに決定されます。ライセンスサーバーのポートは、ライセンスサーバーがフローを要求するときに使用するポートです。
- **バックアップライセンスサーバーのホスト名/IPアドレス**：バックアップライセンスサーバーとして指定したサーバーのIPアドレスまたはサーバー名を入力します。
- **バックアップライセンスサーバーのポート**：バックアップライセンスサーバーのポートの値を入力します。

登録

ご使用のアプリケーションを登録するには、Quarkのウェブサイト（「[Quarkへの連絡](#)」を参照）の「オンライン登録」ページを参照してください。オンライン登録できない場合は、連絡先について「[Quarkへの連絡](#)」を参照してください。

アクティブ化

有効な英数字のバリデーションコードを使用してQuarkCopyDesk®をインストールした後、ソフトウェアをアクティブ化する必要があります。

アクティブ化とは、インストールしたコンピュータ上でQuarkCopyDeskを無期限で実行できる権限を与えることです。アクティブ化中に**インストールキー**が生成されQuarkに送信されます。このインストールキーには、ハードウェア構成が含まれています。

Quarkはインストールキーを使用して **アクティブ化キー**を生成して戻します。アクティブ化キーはQuarkCopyDeskのアクティブ化に使用されます。

- ➡ **バリデーションコード、インストールコード、アクティブ化コード**の包括的な説明については、[Quarkサポートナレッジベース](#)をご覧ください。

有効な（評価版ではない）QuarkCopyDeskは、アクティブ化せずに30日間実行できます。QuarkCopyDeskは、30日以内にアクティブ化しないと、デモンストレーション版モードになります（詳細は、「[デモンストレーション版モード](#)」を参照）。

アクティブ化されたQuarkCopyDeskは、アクティブ化された特定のコンピュータでのみ実行できます。ソフトウェアを別のコンピュータに移動する場合は、ライセンス転送機能を使用します。詳細は、「[ライセンス転送](#)」を参照してください。

- ➡ Quark® License Administrator (QLA) を使用してQuarkCopyDeskの使用状況を監視する場合、QuarkCopyDeskをアクティブ化する必要はありません。
- ➡ 評価版のQuarkCopyDeskが全機能モードで実行されるのは30日間です。その後は、有効なバリデーションコードを入力しないとソフトウェアは起動しません。

アクティブ化

シングルユーザー向けのQuarkCopyDeskを使用する場合は、それをアクティブ化する必要があります。有効なQuarkCopyDeskをコンピュータにインストールしただけで、まだアクティブ化していない場合、ソフトウェアを起動するたびにダイアログボックスが表示されます。アクティブ化を開始するには、**今すぐアクティブ化 (Windows)** または **続ける (Mac OS X)** をクリックします。**製品のアクティブ化**ダイアログボックスが表示されます。

- インターネット経由でQuarkCopyDeskを自動的にアクティブ化するには、**続ける**をクリックします。

- QuarkCopyDeskをインストールしたコンピュータでインターネットにアクセスできない場合、**その他のアクティブ化オプション**をクリックします。QuarkCopyDeskに、Webブラウザによるアクティブ化のオプションが表示されます。アクティブ化コードの生成に使用するWebページは、インターネットに接続されている任意のコンピュータから開くことができます。

起動時にQuarkCopyDeskをアクティブ化しない場合には、**キャンセル**をクリックします。QuarkCopyDeskには、ユーザーがアクティブ化するまで、アプリケーションの起動のためにアクティブ化のオプションが表示されます。

QuarkCopyDeskをアクティブ化しない場合は、インストール後30日間使用できます。30日が経過すると、製品はデモンストレーション版モードで動作し、製品版として実行するにはアクティブ化しなければならなくなります。

- ➡ オンラインでアクティブ化できない場合は、連絡先について「[Quarkへの連絡](#)」を参照してください。

アクティブ化のトラブルシューティング

自動アクティブ化に失敗した場合、**アクティブ化に失敗**画面が表示されます。

- ウェブブラウザを使用してアクティブ化するには、**Quarkウェブサイトからアクティブ化**をクリックし、**続ける**をクリックします。その後は画面の指示に従って操作を続行します。

Webでのアクティブ化に失敗した場合は、Quarkのテクニカルサポートにお問い合わせください（「[Quarkへの連絡](#)」を参照）。なお、QuarkCopyDeskが全機能モードで実行されるのは30日間です。その後は、正しくアクティブ化されるまでデモンストレーション版モードで実行されます（「[デモンストレーション版モード](#)」を参照）。

QuarkCopyDeskがアクティブ化されていないときにコンピュータの日付を猶予期間外の日付に変更する、または2038年以降に設定すると、アプリケーションはデモンストレーション版モードでのみ実行されるようになります。この問題を解決するには、コンピュータの日付を現在の日付に戻します。

Quarkアクティブ化システムでは、基本プロキシサーバー認証のみをサポートしています。基本認証以外の認証を使用するプロキシサーバーの場合、インターネット経由のアクティブ化は機能しません。この場合、オンラインウェブアクティブ化（下記のいずれかのリンクを参照）を使用して製品をアクティブ化します。情報保護のため、ウェブブラウザの履歴からアクティブ化キーのページを必ず削除してください。

- 英語（南北アメリカ）：
<https://accounts.quark.com/Activation/RetrieveActivationCode.aspx?lang=EN>
- 英語（南北アメリカ以外）：
<https://accounts.quark.com/Activation/RetrieveActivationCode.aspx?lang=EN>
- ドイツ語：
<https://accounts.quark.com/Activation/RetrieveActivationCode.aspx?lang=DE>
- フランス語：
<https://accounts.quark.com/Activation/RetrieveActivationCode.aspx?lang=FR>
- 日本語：<https://jstore.quark.com/QuarkStore/Activation/RetActCode.asp?>

アクティブ化

アクティブ化データの変更、欠損、または破損がQuarkCopyDeskによって検出されると、アプリケーションに**QuarkXPressのアクティブ化**ダイアログボックスが表示され、QuarkCopyDeskを再アクティブ化するように求められます。QuarkCopyDeskが猶予期間中の場合、猶予期間は終了します。

再アクティブ化

アクティブ化後、QuarkCopyDeskは起動するたびにアクティブ化キーの有効性を検証します。QuarkCopyDeskが有効なアクティブ化キーを検出できない場合、Quarkのカスタマーサポートに連絡するか、オンラインフォームを送信、または再アクティブ化フォームをファックス送信して、ソフトウェアを再アクティブ化する必要があります。

重要なハードウェアの変更（Mac®上のEthernetアドレスやコンピュータのプロセッサの変更など）を行った場合やなんらかの原因でアクティブ化のメカニズムに障害が発生した場合は、QuarkCopyDeskを再アクティブ化する必要があります。

- ➡ コンピュータの重要なハードウェアの変更を計画している場合、ライセンス転送機能を使用して、まずQuarkCopyDeskを非アクティブ化し、その後、ハードウェアの変更を行ってから同じコンピュータ上で再アクティブ化することができます。詳細は、「[ライセンス転送](#)」を参照してください。

QuarkCopyDeskを再アクティブ化する場合、30日以内に行ってください。30日が経過すると、デモンストレーション版モードで実行されます（「[デモンストレーション版モード](#)」を参照）。

- ➡ アクティブ化されたQuarkCopyDeskは、再アクティブ化せずに、同じコンピュータで必要に応じて何度でもアンインストールおよび再インストールできます。
- ➡ インストール後や特定の周辺ハードウェアの変更時のアクティブ化の猶予期間は30日間です。重要なハードウェアの変更またはアクティブ化のメカニズムの障害があった場合の猶予期間はありません。

二重アクティブ化ポリシー

登録ユーザーは、QuarkCopyDeskのシングルライセンスで、2台のコンピュータ（プライマリコンピュータとセカンダリコンピュータ）にソフトウェアをインストールして使用できます。このポリシーを活用するには、QuarkCopyDeskを両方のコンピュータにインストールし、アクティブ化します。

デモンストレーション版モード

デモンストレーション版モードでは、下記の制限が適用されます。

- ファイルを保存できません。
- 復帰機能が無効になります。

- **環境設定**ダイアログボックス（QuarkCopyDesk／**編集**メニュー）の**保存**ペインで設定を編集できますが、この設定を使用したレイアウトの自動保存やバックアップは行われません。
 - 印刷レイアウトを印刷すると、「QuarkCopyDeskデモ」という語が各ページに表示されます。
 - QuarkCopyDeskレイアウトを最大5ページまでPDF形式で書き出すことができます。各ページには「QuarkCopyDeskデモ」という語が表示されます。
 - 一度に印刷されるのは5ページのみです。
- ➡ インストール直後にQuarkCopyDeskをデモンストレーション版モードで実行した場合、全機能を使用するにはアクティブ化する必要があります。

ライセンス転送

アクティブ化されたQuarkCopyDeskをライセンス転送プロセスを使用して新しいコンピュータに移動できます。このプロセスでは、ソフトウェアを元のコンピュータで非アクティブ化し、別のコンピュータで再アクティブ化することが必要になります。

- ➡ コンピュータのハードウェア構成の重要な変更を行った場合にもライセンスを転送する必要があります。
- ➡ Quarkのテクニカルサポートに連絡しないでライセンスを転送する場合、インターネットへの接続が必要です。

ライセンス転送機能を使用するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QuarkCopyDeskを起動します。
- 2 **QuarkCopyDesk／ヘルプ > QuarkCopyDeskライセンスを転送**を選択します。
- 3 画面の指示に従います。

アンインストール

➡ アンインストーラは、アプリケーションを実行中のインスタンスを検出すると警告を表示します。アンインストールを開始する前に、アプリケーションを終了してください。

アンインストール : Mac OS

QuarkCopyDeskをアンインストールするには、ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQuarkCopyDeskをインストールしたフォルダ）を開き、そのQuarkCopyDeskフォルダをごみ箱にドラッグします。

アンインストール : Windows

QuarkCopyDeskをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 **スタート > すべてのプログラム > QuarkCopyDesk > アンインストール**を選択します。
- 2 **はい**をクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
- 3 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。

➡ インストーラをもう一度実行してアンインストールすることもできます。

このバージョンにおける変更点

新しいバージョンの10.2.1機能

QuarkCopyDeskのバージョン10.2.1は、QuarkXPress 10.2.1との互換性のためのリリースです。

詳しくは、『QuarkCopyDesk 10.2.1ガイド』または
www.quark.com/support/documentationを参照してください。

新しいバージョンの10.1.1機能

QuarkCopyDeskのバージョン10.1.1は、QuarkXPress 10.1.1との互換性のためのリリースです。

詳しくは、『QuarkCopyDesk 10.1.1ガイド』または
www.quark.com/support/documentationを参照してください。

新しいバージョンの10.1機能

QuarkCopyDeskのバージョン10.1には、次のような新機能と機能拡張が含まれています。

最新スタイルの、最適化されたユーザーインターフェイス

Mac OS X用のQuarkCopyDeskは、ネイティブのCocoaアプリになりました。Finder、Dock、他のCocoaアプリケーションなど、オペレーティングシステムの他の機能と緊密に統合されたユーザーインターフェイスを備えています。ユーザーは、新しいOSの機能を活用できます。Mac OS Xの新しいリリースや機能にすばやく対応した、まったく新しい未来志向型のアプリケーションを手に入れることができます。さらに、QuarkCopyDesk 10.1はHiDPI/Retina®をサポートするようになり、新しいカラーテーマや、パレットのドッキング、全画面表示、および多くのメニューやダイアログの合理化など、ワークスペースの拡張機能が数多く搭載されています。

- パレットのドッキング：ツールバーやパレットを、画面の端にドッキングできるようになりました。画面の端にドッキングしたパレットはグループを構成し、グループとして画面上で移動できます。

➡ **メジャーパレット**は、幅の関係で水平方向にのみドッキングできます。他のすべてのパレットは、画面の左端か右端に、垂直方向にドッキングできます。

- パレットのドラッグ&ドロップ：パレットをドラッグ&ドロップして、任意のパレットグループに結合できます。
- パレットウィンドウの吸着：ドッキングしたパレットには吸着機能があり、ワークスペースを整理するために利用できます。アークウィンドウでは、サイズ変更（+）ボタンを使用して、ウィンドウをパレットに吸着／吸着解除できます。ウィンドウとパレットの端の間には分割線が追加されるため、パレットのサイズを変更するとウィンドウのサイズも変更されます。
- パレットの自動表示／非表示：パレットグループは**自動的に表示、または非表示**になるよう設定できます。この機能は、広いワークスペースが必要な場合や、パレットを必要としない場合に表示したい場合に便利です。
- ダイアログのサイズ変更：これまではサイズが固定だった多くのダイアログが、サイズ変更可能になりました。

生産性に関する機能の拡張

- **Mac OS Xメニューの拡張**
 - 1 多くのメニューについて、関連するメニューアイテムをより適切にグループ化するために順序が変更されました。
 - 2 多くのコンテキストメニューは短くなり、無効なメニューアイテムの長いリストは表示されなくなりました。
- **全画面表示（Mac OS Xのみ）**：多くの他の **Mac OS X** ネイティブアプリケーションと同様に、**全画面表示**への切り替えが可能になりました。複数の画面で作業する場合は、パレット用に1つの画面を使い、他の画面をアーク用に使用できます。編集者はパレットに煩わされず、アークに集中できます。全画面モードではメニューバーも隠されます。
- **メジャーパレットの拡張（Mac OS Xのみ）**：Cocoaへの移行の一部として、**Mac OS X**では**設定**ダイアログ、**文字属性**ダイアログ、**段落設定**ダイアログが削除されました。すべての機能は、拡張された**メジャーパレット**に移され、ショートカットもすべて**メジャーパレット**にマップされました。
- **印刷ダイアログの拡張（Mac OS Xのみ）**：印刷ダイアログにページのプレビューが表示されるようになりました。

その他の新機能

- ズームの倍率が8000%まで可能になりました。
- **Retina対応のUI（Mac OS Xのみ）**：QuarkCopyDesk UIは、高解像度のRetinaディスプレイを備えたAppleコンピュータに対応しています。
- **より多くのフォントスタイルのネイティブサポート（Mac OS Xのみ）**：QuarkCopyDesk 10.1では、すべてのフォントとファミリー名が正しく一覧表示されます。Font Bookからフォントを無効にすると、QuarkCopyDesk 10.1のフォントリストからも削除されます。
- **MS Word Filterの拡張**：Microsoft Wordファイルから画像をインポートしたとき、ハイパーリンクが保持されるようになりました。

このバージョンにおける変更点

- Mac OS Xのファイル拡張子 (**Mac OS Xのみ**) : すべての保存／書き出しダイアログで、ファイルを拡張子付きで保存できるようになりました。
- 不足フォントのハイライト表示: **使用状況**パレットを使用しなくても、不足フォントを見つけられるようになりました。**環境設定**で、**Windows**では**テキストのハイライト**ペインを、**Mac OS X**では**カラーテーマ**ペインを使用して、不足フォントのバックグラウンドカラーを選択します。
- **字形**パレットに常にUnicode値を表示: 選択されている文字の**Unicode**値は**字形**パレットに常に表示され、ユーザーがツール・ヘルプを使用する必要はありません。
- テキストをIMEへ転送して再変換を行う: QuarkCopyDesk 10.1では、IME変換のサポート (日本語、韓国語のテキスト用) が追加されました。ユーザーは確定済みのテキストの読みを、元の状態に戻すことができます。**Windows**では、**補助**メニューと**コンテキスト**メニューで使用できます。**Mac**では、**IME**メニューで使用できます。IMBのショートカットとキーボードもサポートされます。
- CJK機能の有効／無効化: QuarkCopyDesk 10.1では、レイアウト作成者が縦組み、ぶら下がり文字、約物の幅の処理、テキストの読み方 (ルビ)、フォントセット、文字グリッド、縦組み用グループ化文字、インテリジェントなフォントマッピングなど、CJK言語の組版における概念を使用できます。これらの機能は、従来はCJKおよびグローバル版のQuarkCopyDeskでのみ利用できたものです。新しいバージョンでは、**環境設定**の専用の設定を使用して、UIをコントロールできるようになりました。
- プログラム言語の設定 (**Mac OS Xのみ**) : QuarkCopyDeskの従来のバージョンでは、**編集**メニューの**表示言語**で言語を変更できました。**Mac OS X**ではこのオプションは削除され、QuarkCopyDeskはアクティブなOS言語で (その言語がサポートされていれば) 自動的に起動するようになりました。
- 修正ポルトガル語のハイフネーションとスペルチェックへの対応: **環境設定**で、修正ポルトガル語を使用するオプションを設定できます。
- 最新のPantoneカラーライブラリ: QuarkCopyDesk 10.1には、Pantoneから受け取った最新のカラーライブラリが統合されています。この更新には、336の新しいPantoneカラーが含まれています。

既知および解決済みの問題

製品のドキュメントについては、Quarkウェブサイト www.quark.com, euro.quark.com または japan.quark.com にアクセスしてください。既知の問題および解決済みの問題の一覧については [Support/Documentation/QuarkCopyDesk](#) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

サポートポータルでは、サポートチケットの記録、チケットの追跡、状況通知の取得、テクニカルサポート担当者とのチャット、ナレッジベースの検索、製品ドキュメントへのアクセスが可能です。

QuarkXPressやApp StudioからQuarkのエンタープライズソリューションまで、すべてのQuarkのソフトウェアからドキュメントに直接アクセスして、いつでも問題の答えを見つけることができます。また、保守契約を契約中のお客様は、サポートポータル経由またはお電話でQuarkのサポートチームを利用することもできます。

Quarkのお客様であり、保守契約やサポート契約を契約している場合は、お客様の登録済み電子メールアドレスでアカウントが作成されています。サポート契約を契約していない場合でも、1回分のサポートを購入して問題を解決できます。サポート付きの製品を購入または登録した場合、最初の90日間はサポートは無料です。

南北アメリカ

詳細は、Quarkのサポートウェブサイト www.quark.com/support を参照してください。

南北アメリカ以外の国々

南北アメリカ以外の国では、以下のサイトでサポートアカウントにアクセスしてください。

サポートウェブサイト

- フランス - www.quark.com/fr/support
- ドイツ - www.quark.com/de/support

法律上の注記

©2014 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。